学校番号	T1202

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	「情報Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	自主製作教材・プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的、体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、普段使っているコンピュータに対して理解を深め、より良い利用方法とは何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習を通してより深く考え、他の受講生を含めた多様な考え方を知り、自分の考えを持ちましょう。
・情報技術の基礎的・基本的な技能を身に付け、自分に必要な資格を取得しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。
【学びに向かう力、人間性等】
情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を見に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている。	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～9月	コンピュータの構成とネットワークの構成	・ハードウェアとソフトウェア ・コンピュータの五大要素 ・情報通信ネットワーク	a:ソフトウェアとハードウェアについて、仕組みを理解している。 b:コンピュータの仕組みを理解し、利点や欠点について考えることができる。 c:コンピュータやネットワークの仕組みについて理解して、適切に活用しようとしている。	プリント 記述 授業内 課題	プリント 記述 授業内 課題 成果物	学習状況 の観察 授業内 課題 成果物
	コミュニケーションとコンテンツ	・コンテンツの制作 ・コンテンツの制作と評価、改善 ・Web サイトによる情報発信	a:コンテンツ制作のプロセスについて理解できる。 b:Web サイトを用いて自己表現ができる。 c:コンテンツ制作のプロセスを評価し、改善に向けたアイデアを考える考えることができる。	プリント 記述 授業内 課題 小テスト	プリント 記述 授業内 課題 学習状況 の観察 小テスト	学習状況 の観察 授業内 課題
10月～2月	プログラミングの基礎	・変数やプログラムの動きなどプログラミングの基礎を理解する。 ・フローチャートを作成してプログラムの作成について理解する。	a:プログラミングの基礎を理解する。 b:プログラミングを作成する上でミスを見つけ修正することができる。 c:プログラミングの課題に対して主体的に取り組もうとしている。	授業内 課題 成果物	授業内 課題 学習状況 の観察 成果物	学習状況 の観察 成果物
	プログラミング応用	・フローチャートを活用してプログラムを作成する。 ・テーマにそったプログラムを作成する。 ・プログラミング課題作成。	a:プログラムの基礎を理解した上で、プログラムを発展させる。 b:課題やテーマにそったプログラムを作成することができる。 c:最後まであきらめずに課題に取り組もうとしている。	授業内 課題 成果物 小テスト	授業内 課題 学習状況 の観察 成果物 小テスト	学習状況 の観察 成果物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度